



夏の遊びに注意しよう!

もうすぐ夏休み

「夏休みだ!」子どもたちは真っ黒に日焼け、水遊びに盆踊り、バーベキューなど楽しいことがいっぱいありますが、次に紹介することに注意しましょう。

海や川での遊び

海や川の場合は、プールとは違い波や流れなどがあります。大人が近くにいっても流されてしまうことがあります。



まずはお周りの人に助けを求めなるべく多くの人を集めます。

②役割分担する…

人が集まったら、119番通報する人、協力して助けてくれる人などを決めます。119番通報する人には顔を見て「あなたお願いします」と伝えてください。

③道具等を使い助ける…

溺れている人は、パニック状態のため、飛び込み助けに行く引きずり込まれ二重事故にな

る場合があります。浮力のある浮き輪やペットボトル、クーラーボックスを投げ、ロープ、長い棒などを使い岸に引き寄せ救助してください。

大人の足がつく場合は、岸から数人で交互に手をつなぎ救助してください。

④応急処置をする…

溺者を陸に引き揚げたら、なるべく平らな場所に寝かせましょう。大きな声で呼びかけ、反応は無いが、しっかり息をしている場合は、回復体位で救急車を待つてください。

回復体位



反応が無く、息もしていない場合は、すぐに胸骨圧迫し救急車を待つてください。サイレンが聞こえたら、案内をしてもら

うように人を道路上までお願いします。



バーベキューの注意点

①軍手は使わないで…

市販されている軍手は、ポリエステル等の化学繊維で作られている物が多く、高温の炭やコンロに触ると溶けて皮膚に付着し火傷をします。皮手袋や専用グローブを使用しましょう。

②風に注意…

周りに燃えやすいものがあると、火の粉が飛び燃え広がる可能性があります。また、ゲル状の着火剤やガソリンを、火おこし中の炭に直接入れることは絶対にしないでください。炎が勢いよく燃え広がったり火傷や着衣に燃え移る可能性があります。

③熱中症に注意…

バーベキューは屋外でするた



め、喉が渇いたと感じる前に、水分の補給を心がけ、帽子の着用、日除けの使用等、熱中症にならないようにしましょう。

花火の注意点

①花火をする前には…

水の入ったバケツ、点火用口ソック、ゴミ袋などを準備し、燃えやすいものを避け、周りに迷惑にならないよう、広い場所で遊びましょう。

②花火中…

花火に書いてある遊び方を読み、必ず大人と一緒に遊びましょう。花火数本にまとめて火をつけると、炎が大きくなり危険です。必ず1本ずつ火をつけ、走り回らないよう遊びましょう。

③花火終了後…

遊び終わった花火は、バケツの水につけしっかり火を消しましょう。使用後の花火、ゴミなどは片付け持ち帰りましょう。



問 消防本部予防課
67・1219